

厚生労働行政推進調査事業費補助金(厚生労働科学特別研究事業)  
(分担)研究報告書

熊本地震後の急性心筋梗塞発症数に関する研究

研究分担者 小島淳 熊本大学心不全先進医療共同研究講座

平成28年熊本地震後の熊本県下の急性心筋梗塞発症数を月別に調査した。2009年から2015年の過去7年間と比較し、2016年4月、5月、6月は、有意に上昇していた。熊本県内急性心筋梗塞発症全例調査(Kumamoto Acute Coronary Events(KACE) Study)からのデータ。

熊本大学心不全先進医療共同研究講座  
准教授

A. 研究目的

熊本地震後の急性心筋梗塞発生数を月別に調査し、過去の件数と比較すること。

B. 研究方法

これまで、2009年から熊本県内の急性心筋梗塞全例調査を(Kumamoto Acute Coronary Events(KACE) Study)小島を代表として行ってきた。  
このデータから熊本地震前後の発症数を比較する。

(倫理面への配慮)

熊本地震前から行われた研究の継続であり、すでに倫理委員会は承認されている。

C. 研究結果

発災月の2016年4月、5月、6月はグラフのように、過去7年と比較し増加しており、熊本地震においても過去の報告と同様、急性心筋梗塞は増加していることが明らかとなった。  
結果のグラフは添付資料(分担小島淳熊本地震後急性心筋梗塞.pdf)参照。

D. 考察

熊本地震でも急性心筋梗塞発症数増加がみられた。今後、発症状況、場所等について調査し、いつどのような介入が適切か検討する。

E. 結論

熊本地震後、これまでの災害で報告されているのと同様に、急性心筋梗塞発症数の増加がみられた。

F. 健康危険情報

該当なし

G. 研究発表

1. 論文発表

Koji Sato, Kenji Sakamoto, Sunao Kojima, Seiji Hokimoto, et al. Risk factors and the prevalence of DVT post Kumamoto earthquakes.投稿準備中

2. 学会発表

『熊本地震シンポジウム2017』シンポジウム  
震災時の災害関連疾患とその対策  
急性心筋梗塞 発表 小島淳

H. 知的財産権の出願・登録状況

なし

